

パククネ打倒・財閥解体へ

日韓軍事同盟粉碎し 朝鮮戦争阻もう

動労総連合を建設し J R 体制打倒を

11 月 30 日、韓国の民衆ゼネストは世界史の新段階を開いて闘われた。この日、日本全国で韓国民衆ゼネスト連帯行動が取り組まれ、「日本でも韓国のようなデモをやりたい」の声と大合流した。アメリカのトランプ登場は、戦後世界の基軸であった米帝国主義の大崩壊とアメリカ革命の現実性を引き寄せている。ついに開いた世界革命への扉を日本の労働者人民がさらに大きく開こう。12・4 三里塚に続いて、12・10 常磐線開通阻止、12・12 京大の 12 月総決起をやりぬき、動労総連合建設と都労連決戦を柱に安倍・小池打倒へ進撃しよう。そのすべてを冬期カンパ闘争に集約し、17 年の決戦へ躍り込もう。

韓国で始まった革命の勝利へ共に突き進もう

韓国の民衆ゼネストは、9・27 以来 3 カ月目に入った鉄道労組の無期限ストを先頭に、民主労総の全産別・全職場での決起として爆発している。さらに「時局宣言」を発した 110 大学での同盟休校決起、農民や商店主などあらゆる階層の 1500 団体の大合流という「社会を止める」実力決起として、ブルジョア国家権力の打倒＝労働者権力の樹立に向かう闘いとして、日々変革しながら闘いとられている。

20 世紀から今日まで世界で数多くの革命や政権打倒が闘われたが、労働者が労働組合に自己を組織して勝利した本格的なプロレタリア革命は 1917 年の

ロシア革命^{かくめい}だけだ。これに続く闘^{つづ}いが今^{いま}、韓国^{かんこく}で始^{はじ}まった。

今年^{ことし} 8 月^{がつ}に発^{はっ}せられた東京^{とうきょう}とソウル^{むす}を結^がぶ 11 月^{がつ}国際^{こくさい}共^き同^{どう}行^{こう}動^{どう}の^アピール^{ピール}の
内容^{ないよう}が、このよう^{きょだい}な巨^す大^がな姿^{せい}で世界^せ史^{かい}に登^{とう}場^{じょう}した。11・6 労働^{ろうどう}者^{しゃ}集^{しゅう}会^{かい}はその
かけがえのない一環^{いつかん}としてかちとられた。世界^せ革命^{かい}への扉^{とびら}をさら^{おお}に大^あきく開^あけ
て進^{すす}もう。

まず第一^{だいいち}に、パククネ^{かんぜん}完^だ全^{とう}打^つ倒^すへ突^{かんこく}き進^{ろうどう}む韓^{しや}国^{じん}労^{こく}働^さ者^い人^{たい}民^あとの国^{こく}際^{さい}連^{れん}帯^{たい}を圧^あ倒^う
的^{てき}に強^{きょう}化^か、拡^{かく}大^{だい}、発^は展^{てん}さ^はせ^てい^くこ^とだ。

パククネと韓国^{かんこく}支^し配^{はい}階^{かい}級^{きゅう}は、今^{いま}や「条^{じょう}件^{けん}付^つき退^{たい}陣^{じん}」を^{ひょうめい}表^{ひょう}明^{めい}せ^{ざる}を^えない
ところ^おに追^つい詰^ねめ^られた^が、その狙^{だい}いは大^{だい}統^{とう}領^{りょう}権^{けん}限^{げん}を^ほ保^じ持^して民^{みん}主^{しゅ}労^{ろう}総^{そう}の決^{けつ}起^き
を^お押^しし^つぶ^すた^めの^じ時^{かん}間^{かせ}稼^さぎ^にす^ぎな^い。

ハンサンギョン^{みんしゅろうそう}民^い主^{いん}労^{ちよう}総^{ごく}委^{ちゆう}員^う長^{った}が獄^{かん}中^{ごく}から訴^おえ^た「パククネを監^{かん}獄^{ごく}に送^{おく}
れ！」こそ全^{ぜん}民^{みん}衆^{しゅう}のスロ^{みん}ーガ^{しゅう}ンだ。ゼネ^{みん}ストと民^{しゅう}衆^{そう}総^{けつ}決^き起^き闘^{とう}争^{そう}を指^し導^{どう}したた^め
に獄^{ごく}中^{ちゆう}に奪^うわ^れて^いるハンサンギョン^い委^{いん}員^{ちよう}長^{ごく}の即^{そく}時^じ釈^{しやく}放^{ほう}を^{ぎやく}か^ちと^り、逆^{ぎやく}にパ
ククネとそれ^{つら}に連^{れん}なる連^{ちゆう}中^のを^{かん}残^{ごく}ら^ず監^こ獄^だに^とぶ^ち込^めむこ^とだ。パククネ打^だ倒^{とう}を突^と
破^ば口^{こう}に財^{ざい}閥^{ばつ}とブル^こジョ^{けん}ア^りジ^{よく}ー、国^こ家^{ぜん}権^{はん}力^{ざい}の全^{はく}犯^{じつ}罪^つを白^{はく}日^{じつ}の^{もと}に^{さら}し、ブル
ジョア^{けん}権^り力^{よく}を打^だ倒^{とう}しプロ^{けん}レ^りタ^かリ^くア^く権^り力^{よく}を確^{けん}立^{りつ}する。このプロ^{けん}レ^りタ^かリ^くア^く権^り力^{よく}だ
けが、南^{なん}北^{ぼく}に分^{ぶん}断^{だん}さ^れた朝^{ちよう}鮮^{せん}半^{はん}島^{とう}の革^{かく}命^{めい}的^{てき}統^{とう}一^{いつ}を^{じつ}実^{げん}現^{げん}するこ^とが^でき^る。

民^{みん}主^{しゅ}労^{ろう}総^{そう}を先^{せん}頭^{とう}と^{する}労^{ろう}働^{どう}者^{しゃ}階^{かい}級^{きゅう}が、野^や党^{とう}な^どのあ^らゆる収^{しゅう}拾^{しゅう}策^{さく}動^{どう}を打^うち破^{やぶ}
り、全^{ぜん}世^せ界^{かい}の民^{みん}衆^{しゅう}と^{とも}に革^{かく}命^{めい}の完^{かん}遂^{すい}へ進^{すす}むこ^とが^でき^るか否^{いな}か。こ^こに朝^{ちよう}鮮^{せん}
と東^{ひがし}ア^{ぜん}ジ^あア、そ^{して}全^{ぜん}世^せ界^{かい}の労^{ろう}働^{どう}者^{しゃ}人^{じん}民^{みん}の命^{めい}運^{うん}が^かか^って^いる。

この情^{じよう}勢^{せい}への非^ひ常^{じよう}な危^き機^き感^{かん}に^から^れ、パククネ^{きゅう}救^{きゅう}済^{さい}に全^{ぜん}力^{りよく}で動^うい^てい^るの
が日^{にっ}帝^{ぽう}・安^あ倍^{べい}政^{せい}権^{けん}だ。11 月^{がつ} 23 日^{にち}の G S O M I A (日^{にっ}韓^{かん}軍^{ぐん}事^じ情^じ報^{ほう}包^{ほう}括^{かつ}保^ほ護^ご協^{ぎょう}定^{てい})
締^{てい}結^{けつ}は、日^{にち}米^{べい}韓^{かん}軍^{ぐん}事^じ同^{どう}盟^{めい}に^よる対^{たい}北^{きた}朝^{ちよう}鮮^{せん}の戦^{せん}争^{そう}発^は動^{どう}への準^{じゅん}備^びで^ある^と同^{どう}時^じに、

かんこくみんしゅう けっ き ちんあつ さいだい ねら だん ゆる
韓国民衆のゼネスト決起を鎮圧するのが最大の狙いだ。断じて許すことができない。

べい どうじょう しん じ ゆうしゅ ぎ ぜんめんほうかい せ かいだいきょうこう は きょくてきげき か せ
米トランプの登場が新自由主義の全面崩壊、世界大恐慌の破局的激化と世界
かいけいざい ぶんれつ せ かいせんそう せ かいかくめい けつていてきじょうせい ひ よ なか にってい あ べ
経済の分裂、世界戦争か世界革命かの決定的情勢を引き寄せる中、日帝・安倍
いま い じょう ぜったいぜつめい き き ぐん じ たいこく か ひがし
は今やパククネ以上の絶体絶命の危機にある。そして軍事大国化と東アジアで
あら せんそうとつにゆう えんめい みち もと だ どう けっ き
の新たな戦争突入に延命の道を求めてあがいている。パククネ打倒に決起する
かんこくみんしゅう れんたい みち にほん あ べ だ どう ちょうせんせんそう そ し かんこく
韓国民衆と連帯する道は、日本で安倍を打倒することだ。朝鮮戦争阻止、韓国
かくめい れんたい いま にほんろうどうしゃじんみん そうけっ き
革命との連帯をかけて、今こそ日本労働者人民の総決起をかちとろう。

こくてつげっせん だいぜんしん みち き ひら
国鉄決戦の大前進こそゼネストの道切り開く

き ひら さいだい はしら こくてつげっせん
ゼネストを切り開く最大の柱は国鉄決戦だ。

ほうかん ぜんがくれん かんこく がくせい こうりゅう なか かんこく がくせいうんどう すうねんまえ
訪韓した全学連が韓国の学生と交流する中で、「韓国の学生運動も数年前ま
ひ じょう こんなん う やぶ とつ ぱ こう ねん がつ
では非常に困難だった。それを打ち破る突破口となったのは2013年12月の
てつどうろう そ にちかん はじ めいわく かん じょじょ きょうかん う
鉄道労組の23日間のストライキだ。初めは迷惑に感じたが、徐々に共感が生ま
みな げん き かべしんぶん かくだいがく は あら
れ、『皆さんお元気ですか?』という壁新聞が各大学に貼られたところから、新
たたか はじ はなし き こくてつとうそう ぜんみんしゅう けんいん
たな闘いが始まった」との話聞いたという。国鉄闘争が全民衆を牽引（け
せん ご にほん おな
んいん）してきたのは戦後日本も同じだ。

じゅうよう てつどう せい か で かべしんぶん
重要なのは、鉄道ストですぐに成果が出たかどうかではなかった。壁新聞の
げん き と げん き こた
「元気ですか?」の問いかけにも「元気ではありません」という答えがあふれた。
てつどうろう そ にちかん ふくつ たたか りよく しめ しんらい ゆう き ひろ
しかし、鉄道労組が23日間ストを不屈に闘い力を示したことが信頼と勇気を広
げた。

いま じっせん どうろうそうれんごう
それを今、実践しているのが動労総連合だ。

来年^{らいねん} 4 月^{がつ} 1 日^{いつちち}で 30 年^{ねん}となる国鉄分割・民営化^{こくてつぶんかつ みんえい か}は、今^{いま}や完全^{かんぜん}に破綻^{はたん}している。
 J R 7 社^{しゃ}のうち 4 社^{しゃ}が赤字経営^{あかじけいえい}だ。J R 四国^{しこく}では無人駅^{むじんえき}が 8 割^{わり}を超え、J R 北海道^{ほっかいどう}
 も 76 %^{むじんえき}が無人駅^{うえ}の上、1 2 0 0 キロ^{せんろ}の線路^{はいせん}を廃線^{かぶじょうじょう}にしようとしている。株上場^{かぶじょうじょう}
 した J R 九州^{きゅうしゅう}は、来年^{らいねん} 3 月^{がつ}のダイヤ改正^{かいせい}で新幹線^{しんかんせん} 3 駅^{えき}のホーム^{むじんか}を無人化^{むじんか}すると
 発表^{はつぴょう}した（現状^{げんじょう}は 1 駅^{えき}）。

そして J R 資本^{しほん}と J R 総連カクマル^{そうれん}との結託体制^{けつたくたいせい}の破綻・崩壊^{はたん ほうかい}だ。運転士^{うんてんし}に車
 掌業務^{しょうぎょう む}を兼務^{けんむ}させる重大攻撃^{じゅうだいこうげき}の強行^{きょうこう}を容認^{ようにん}した J R 東労組^{とうろうそ}のスト権投票^{けんとうひょう}に
 対^{たい}し、「何をいまさら！」と現場労働者^{げんばろうどうしゃ}の怒り^{いか}が噴き上^{ふ あ}がっている。その怒り^{いか}を
 組織^{そしき}する動労総連合^{どうろうそうれんごう}の反撃^{はんげき}が開始^{かいし}された。

J R 東日本^{ひがし にほん}では、上野東京ライン^{うえのとうきょう}をはじめ、今年^{ことし}の籠原駅炎上^{かごはらえきえんじょう}、北上尾駅信号
 ダウンと、もう 2 年近くダイヤ通りに運行^{うんこう}した日^ひはない。あいつぐ事故^{じこ}に追いつ
 められた J R 東会社^{ひがしがいしゃ}は、10 月 28 日^{がつ}に発表^{はつぴょう}した「経営構想 V 『今後の重点^{けいえいこうそうファイブ}取
 り組み事項^{こんご}』の更新^{じゅうてん}」で「水平分業^{すいへいぶんぎょう}」を強調^{きょうちよう}した。さらなる別会社化・子会社化^{べつがいしゃ か こがいしゃ か}
 によって本体^{ほんたい}だけ生き残ろうとする絶望^{ぜつぼう}的方針^{てきほうしん}だ。

J R 東^{ひがし}は、矛盾^{むじゆん}のすべてを外注化・非正規職化^{がいちゅう か ひせい きしよく か}として労働者^{ろうどうしゃ}に押し付けて
 いるが、動労千葉^{どうろう ちば}の闘い^{たたか}が怒り^{いか}の声^{こえ}に火^ひをつけている。「トイレ問題^{もんだい}」の焦点化^{しょうてん か}
 はその表^{あらわ}れだ。千葉—館山間^{ちば たてやまかん}の直通運転廃止^{ちよくつうてんはいし}への反撃^{はんげき}も、J R 北海道^{ほっかいどう}が 3 月^{がつ}ダ
 イ改^{かい}で宗谷・石北線系統^{そうや せきほくせんけいとう}の特急^{とっきゅう}を旭川発着^{あさひかわはつちやく}に分割^{ぶんかつ}するような全国^{ぜんこく}での大攻撃^{だいこうげき}
 に対する反撃^{はんげき}ののろし^{かなら}に必^{かなら}ずなる。

12・10 常磐線開通阻止闘争^{じょうばんせんかいつう そ しとうそう}を、仙台^{せんだい}、福島^{ふくしま}、新宿^{しんじゅく}の J R 東本社^{ひがしほんしゃ}を貫^{つらぬ}く一日^{いちにち}
 行動^{こうどう}として闘^{たたか}おう。それは 6 年目^{ねんめ}の「3・11」へ向け、反原発^む・福島^{はんげんぱつ}の怒り^{ふくしま}を束
 ねる闘^{たたか}いだ。J R 東^{ひがし}の「水平分業^{すいへいぶんぎょう}」攻撃^{こうげき}は 17 年 10 月^{ねん がつ}の転籍問題^{てんせきもんだい}として爆発^{ばくはつ}
 する。それは 1 6 0 0 万人^{まんにん}の有期雇用労働者^{ゆうき こようろうどうしゃ}、2 6 0 万人^{まんにん}の派遣労働者^{はけんろうどうしゃ}の未来^{みらい}がか

かった^{たたか}闘^がいだ。さらに 12 月 16 日、J R 東 会 社 を^{ひがしがいいしや}ギリギリと^お追^つい^{しゅつ}詰^めて^いる^で出^で
 向^{こう}無^む効^{こう}確^{かく}認^{にん}訴^そ訟^{しょう}の^{だいほうてい}大^{けっしゅう}法^た廷^{たか}に^{せいねんろうどうしや}結^{せんとう}集^そして^{しきかくだい}闘^おう。青^{せい}年^{ねん}勞^{ろう}働^{どう}者^{しや}を^{せんとう}先^そ頭^{しき}に^{かくだい}組^く織^そ拡^{かく}大^{だい}を^{じつげん}
 実^じ現^{げん}し^{よう}う。

この^{こくてつけっせん}国^い鉄^{たい}決^と戦^{ろうれんけっせん}と^{たたか}一^あ体^べで^{こいけ}都^だ勞^{とう}連^{れん}決^{けつ}戦^{せん}を^{のぼ}闘^めい、安^あ倍^べ・小^こ池^い打^だ倒^{とう}へ^せ攻^のめ^ぼ上^うろ^うう。12
 月^{がつ}総^{そう}決^{けつ}起^きが^{ねん}2 0 1 7 年^{ねん}の^{かくめい}ロ^ろシ^しア^あ革^き命^{めい}^{ねん}1 0 0 年^きを^{ひら}切^きり^{しん}開^もく^たこ^たと^たに、自^じ信^{しん}を^も持^もっ^たて^た闘^た
 お^うう。

全^{ぜん}職^{しよく}場^ばに^{ぜんしん}『前^{かくだい}進^{あら}』^{ろうどうしやとうけんせつ}拡^{くわ}大^{だい}し^{しん}新^{あら}た^{あら}な^{あら}勞^{ろう}働^{どう}者^{しや}党^{とう}建^{けん}設^{せつ}へ

プロ^{かくめい}レ^{ほんかくてきかい}タ^{まえ}リ^{もっと}ア^{じゅうよう}革^か命^{だい}の^{ろうどうしや}本^{とう}格^{とう}的^{とう}開^{とう}始^{とう}を^{とう}前^{とう}に^{とう}し^{とう}て、最^もも^も重^{じゅう}要^{よう}な^か課^{かい}題^{だい}は^{ろうどうしや}勞^{とう}働^{とう}者^{とう}の^{とう}党^{とう}の^{とう}
 建^{けん}設^{せつ}で^{ある}。

韓^{かん}国^{こく}で^だの^たパ^たク^たネ^た打^た倒^たの^{かくめい}闘^{しゅう}い^りが^{けつ}プロ^{かくめい}レ^{しゅう}タ^りリ^{けつ}ア^{じつ}革^{じつ}命^{じつ}の^{かくめい}勝^{しゅう}利^りに^{けつ}結^{じつ}実^{じつ}し^てい^くた^め
 には、本^{ほん}物^{もの}の^{ろうどうしやかいきゅう}勞^{とう}働^{とう}者^{とう}階^{かい}級^{きゅう}の^{とう}党^{とう}の^{とう}登^{とう}場^{じょう}が^{けつ}決^{けつ}定^{てい}的^{てき}で^{あり}、絶^{ぜつ}対^{たい}不^ふ可^か欠^{けつ}だ。軍^{ぐん}事^じ独^{どく}裁^{さい}
 政^{せい}権^{けん}時^じ代^{だい}か^ら続^{つづ}く^く極^{ごく}悪^{あく}の^{ちあんほう}治^ち安^{あん}法^{ほう}で^{ある}国^{こく}家^か保^ほ安^{あん}法^{ほう}に^{よる}弾^{だん}圧^{あつ}を^う打^やち^ぶ破^かる^ひ鍵^{かぎ}も、非^ひ
 合^{ごう}法^{ほう}・非^ひ公^{こう}然^{ぜん}の^{とう}党^{けん}の^{せつ}建^{けん}設^{せつ}に^{ある}。

パ^{かん}ク^{ぜん}ネ^だ完^た全^{とう}打^{くわ}倒^{ざい}に^{ばつ}加^{けん}え^り財^{ぜん}閥^{めん}と^{かい}そ^{たい}の^{けん}権^り力^{よく}の^{ぜん}全^{めん}解^{かい}体^{たい}を^めめ^ぐず^す民^{みん}主^{しゅ}勞^{ろう}総^{そう}の^{たたか}闘^{たたか}い
 は、そ^{そう}の^{ぜつ}壮^た絶^たな^{なか}闘^{かな}い^らの^{ろうどうしやかいきゅう}中^{かくめい}か^らら^{もと}必^うず^だ勞^{ろう}働^{とう}者^{とう}階^{かい}級^{きゅう}の^{かくめい}革^{かく}命^{めい}党^{とう}を^{もと}求^{もと}め、生^うみ^だ出^だし^てい^く
 く。そ^{かく}の^{とう}格^{かい}闘^しは^{かん}す^{こく}で^ろに^{ろう}開^{どう}始^{しや}さ^{かい}れ^{きゅう}て^いる。ま^{かん}た^{こく}韓^{かん}国^{こく}の^{ろうどうしやかいきゅう}勞^{かん}働^{こく}者^{かく}階^{めい}級^{めい}は、韓^{かん}国^{こく}革^{かく}命^{めい}に^{つづ}続^{つづ}く
 く^{ちようせんはんとう}朝^{なんぼくとういつ}鮮^む半^{しゅ}島^ぎの^だ南^た北^た統^た一^かに^た向^たか^かつ^て、ス^{しゅ}タ^ぎー^ぎリ^ぎン^ぎ主^ぎ義^ぎを^のり^こえ、打^だ倒^たす^る闘^{たたか}い
 へ^{ちようせん}の^{かい}挑^{かい}戦^しを^{じゅう}も^{だい}開^{かん}始^{どう}した。こ^きの^きこ^きは^きわ^めて^き重^{じゅう}大^{だい}で^{あり}、感^{かん}動^{どう}的^{てき}だ。

こ^{たたか}の^{かく}闘^{きゅう}い^{どう}は、革^じ共^{しん}同^い自^い身^{そう}の^ひ一^{やく}層^{へん}の^{かく}飛^{せい}躍^{ちよう}と^い変^い革^{たい}、成^{せい}長^{ちよう}と^も一^い体^{たい}で^かち^とら^れれ^る
 る。革^{かく}命^{めい}的^{てき}共^き産^{さん}主^{しゅ}義^ぎ運^{うん}動^{どう}「50 年」の^{ねん}勝^{しゅう}利^りの^{ちく}蓄^{せき}積^うの^え上^たに^{こん}立^{しゅう}ち、今^が秋^つ 11 月^{がつ}勞^{ろう}働^{どう}者^{しや}
 集^{しゅう}会^{かい}を^{たたか}闘^かい^{てい}と^はる^は過^し程^{じよく}で^すで^に始^はめ^てい^る職^{しよく}場^ば実^じ践^{じつ}を^き基^そ礎^そに、わ^れれ^れわ^れれ^れ自^じ身^{しん}の

へんかく とうせいかくだい おも き ちょうせん
変革と党勢拡大に思い切って挑 戦しよう。すべての仲間に党への結 集 を呼びか
けよう。

たたか がつ ぜんしん かくだい とう き とうそう たたか か な がわ
その 闘 いを 12 月、『前進』拡大と冬期カンパ闘争として 闘 いとろう。神奈川
の ある 職 場 には『ぜんしん』が とど ぶんかいちょう みな ぜんしん とど
よ！」と 職 場 に 配 っているという。とうきょう ろう そ けい じ ばん ぜんしん は
いるところも 出 ている。ぜんこく がいとう しょく ば ち いき だいがく たいしゅう ぜんしん
提起する思想と時代認識と 闘 いの路線を求め、『ぜんしん』をこうぜん かか しゅたい
出 現を求めているのだ。これにこた ひとり へんかく き かん し かくだい
とう き けっせん けっ き
冬期カンパ決戦に決起していこう。